

## ● 地域小学校の総合的な学習を通じた まちづくり授業のその後

～生徒と保護者への5年後の追跡調査～

(財)道路新産業開発機構 鈴木葉子  
芝浦工業大学 岩倉成志  
芝浦工業大学 市川健太  
(株)道路計画 野中康弘

## ● 2. 5年前に実施したまちづくり授業

- 子どもの頃から地域に接する機会を設け、まちへの興味や愛着を育む
- 子どもを通じ、保護者や住民への波及効果をねらう

テーマ：日本橋の未来をつくる

日本橋のまちが将来どのようになればよいかについて  
考え、1/100程度のスケール模型を作成



### 実施概要

- 学校 東京都中央区常盤小学校
- 学年 小学校5年 25名
- 期間 2004年9月～2005年3月
- 回数 50コマ



『日本橋の未来を考える』総合学習授業実施

## ● 1. 本研究の背景と目的

- 土木計画や都市計画等では、地域を教材とした授業や地域を舞台とした授業(まちづくり授業や土木学習など)が実施されている
- 特に、小中学校の教育課程におけるまちづくり授業や土木学習などの授業事例が多数存在

しかし、  
まちづくり授業効果の定着性に関する既往文献はほとんどない

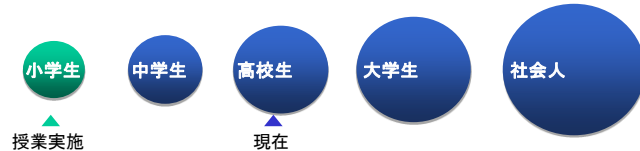
本研究では5年後のまちづくり授業効果  
の定着性を検証





### まちづくり授業はよかったことなのか？

- ✓ 中長期的にみて、どんな効果があったのか？
- ✓ もし効果があるとすれば、どんなカタチで定着しているのか？
- ✓ 子どもを通じて保護者へのアプローチは効果があったのか？



→ 有効な追跡調査方法を検討し、授業効果の定着性を検証



あれから5年

### (1) 調査設計

#### 前提条件

- ✓ 授業実施後、生徒はじめ保護者に一切連絡をしていない

#### 調査方法【その1】 郵送アンケート調査【生徒用】【保護者用】

- ✓ 授業実施直後の“まちへの関心”は現在どうなっているのか  
⇒ 当時のアンケート結果と比較
- ✓ 事前に電話や書面にて調査依頼を一切しない状態で、アンケート調査に協力してもらえるのか  
⇒ 回収状況から考察
- ✓ 保護者への波及効果を探る  
⇒ アンケート結果から考察
- ✓ 生徒の“授業がきっかけとなった行動”を探る  
⇒ アンケート結果から考察

### 3. 追跡調査

第44届土木計測学会大会

#### (1) 調査設計

##### 調査方法【その2】 インタビュー調査【生徒】

✓アンケート調査後に、インタビュー調査に協力してくれるのか？

⇒参加状況から考察

✓生徒の“授業がきっかけとなった行動”を探る

⇒アンケート項目で『YES』と回答している場合、その理由と具体例(エピソード)を聞く



9

### 3. 追跡調査

第44届土木計測学会大会

#### (2) 設問内容

##### アンケート項目①

✓まちづくり授業の授業内容の記憶の度合いに関する項目

##### アンケート項目②

✓まちづくり授業の取組みや進め方、まちづくり授業と外部との関わりに関する項目

##### アンケート項目③

✓当時の授業がきっかけとなり、現在できるようになったことを聴く

##### インタビュー項目

✓アンケート項目①～③について、回答アンケート票をもとにより詳しく話を聴く

10

### 4. 追跡調査結果

第44届土木計測学会大会

#### (1) 回収状況

生徒24名のうち ※1名は住所不明のため、対象外

17名(71%)のアンケート票を回収 8名にインタビュー調査を実施

保護者24名のうち

16名(67%)のアンケート票を回収

##### 回収状況から

✓アンケート回収の催促はしたもの、高い回収率と言える

✓生徒と保護者の回収率に大きな差はなく、うち15組が親子であった

11

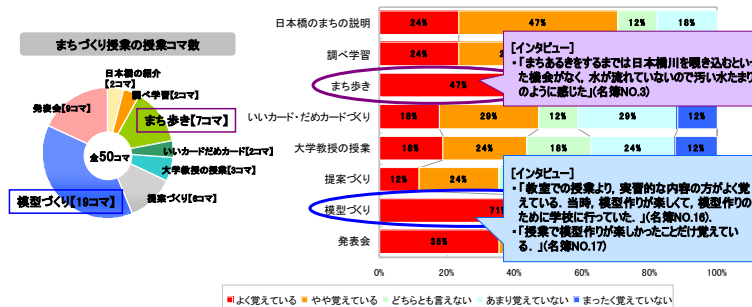
### 4. 追跡調査結果

第44届土木計測学会大会

#### (2) まちづくり授業の内容について ~生徒~

✓特に「まち歩き」【47%】や「模型作り」【71%】についてよく覚えていた

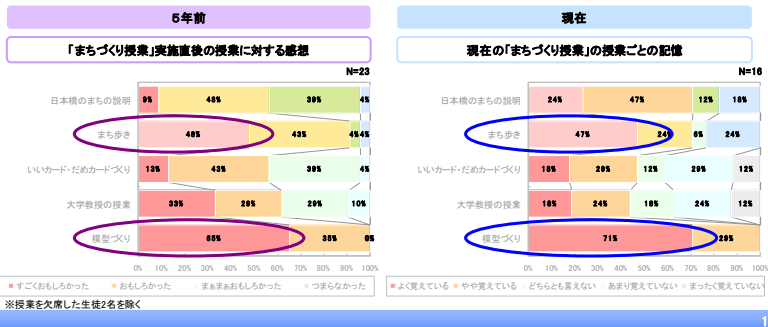
✓実習的な要素や模型づくりの楽しさが記憶に影響したのではないかと



12

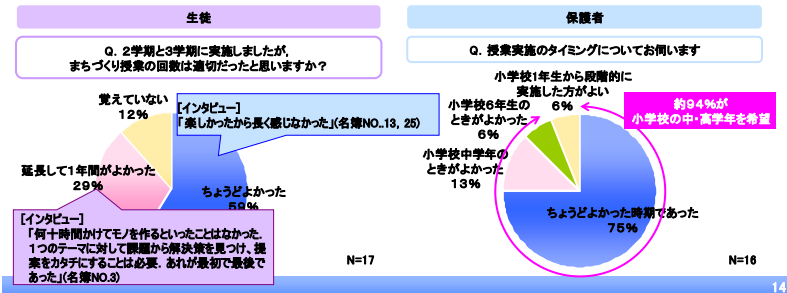
(2) まちづくり授業の内容について ~生徒~

✓授業実施直後の授業に対する感想が現在の記憶の定着の度合いと影響していると考えられる



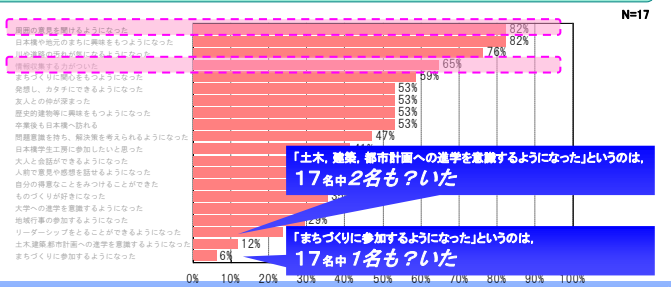
(3) まちづくり授業の進め方について

✓授業回数は、全体の約6割の方が「ちょうどよかった」と回答、また約3割の方が「もう少し延長して1年間がよかった」と回答。「よくなかった」という回答はなかった  
 ✓授業実施のタイミングは、小学校時代に実施して欲しいが100%、一方で中学校、高校、大学を選択の方は皆無であった。



(4) まちづくり授業がきっかけとなったこと ~アンケート~

✓まちづくり授業がきっかけとなったことについては、全体の約8割の方が「周囲の話を聞けるようになった」、「日本橋や地元のまちに興味をもつようになった」と回答。  
 ✓少数意見としては、土木、建築、都市計画への進学を意識するようになった(2名)、まちづくりに参加するようになった(1名)が存在



(5) まちづくり授業がきっかけとなったこと ~インタビュー~

周囲の意見を聞けるようになった  
 ✓「このまちづくり授業を受けるまでは、周囲の意見を聞くようになつた。また、周囲の友人に教えてもらうことも多かった。」  
 [保護者の声]  
 Q. 授業がきっかけで、お子様の成長がありましたか?  
 A. 物事を多方面から考えるようになった。  
 ✓「自分のことだけでなく、人の話を聴けるようになった。」

インタビューからみえてきたこと  
 ✓情報収集、提案づくりや模型づくりなど分担作業が多かったため、周囲の考えを聴く機会が多かったのではない

## 4. 追跡調査結果

第44回土木計測学会大会

### (5) まちづくり授業がきっかけとなったこと ～インタビュー～

#### 情報収集する力が付いた

- ✓「今までは必要な情報を資料集などから得ていたので(情報が載っている前提)、インターネットで探すことはあまりなかった(情報があるかわからず、工夫が必要).」
- ✓「小学校の時、他の授業でもレポートがあったが写すだけの作業が多かった。まちづくり授業では、人から話を聞いてまとめることもあったので、良い経験となった。はじめは嫌だったが、楽しくなってきた。」
- ✓「パソコン以外の方法で調べることを知った。(ヒアリングなど)」

#### インタビューからみえてきたこと

- ✓まちづくり授業では地域に関する問題や課題等を収集することが必要であったため、どこにどんな情報があるのか?ということも探求したのではない

17

## 5. まとめ

第44回土木計測学会大会

#### 調査設計について

- アンケート調査とインタビュー調査を段階的に実施することで、より多くのサンプル数を確保することができた

#### 授業設計について

- 授業の実施タイミングや授業時間数については、生徒と保護者からの評価は比較的高い結果であった。しかし、なぜ、中学校、高校、はどうして皆無であったのか
- 実習や現場視察等のフィールドワークを授業に組込むことで、授業内容が定着しやすくなるのではない
- 小学校低学年から段階的に授業を実施していくことでもっと効果的ではなかったのか

#### 授業の効果について

- 生徒にとって、まちづくり授業は『まちに興味を持つ』きっかけとなっただけではなく、一人一人の成長にも寄与していた
- 保護者にとって、まちづくり授業を通じて『まちづくりへの参加』のきっかけとなり、実際にまちづくりに参加していた

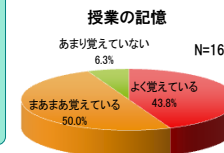
19

## 4. 追跡調査結果

第44回土木計測学会大会

### (6) まちづくり授業がきっかけとなったこと ～保護者～

- ✓授業の記憶は、16名中15名(94%)の保護者が「覚えている」と回答
- ✓授業がきっかけでまちづくりに参加するようになったと回答した保護者8名いた。その8名中7名が授業実施後のアンケート調査で日本橋のまちづくりへの参加意識が「高まった」、「やや高まった」と回答していた。



	【5年後アンケート】 日本橋のまちづくりに参加するようになった						合計	
	よく参加している	時々参加している	たまに参加している	今まで以上に3回程度参加したことがある	全く参加しない	その他		
【授業後アンケート】 日本橋のまちづくりへの 参加意識	高まった	2	0	0	3	4	2	11
	やや高まった	0	0	0	2	0	0	2
	どちらとも書えない	0	0	1	0	1	0	2
	あまり変わらない	0	0	0	0	0	0	0
	変わらない	0	0	0	0	1	0	1
合計		2	0	1	5	5	2	15

18

## 6. 今後の課題

第44回土木計測学会大会

- ✓本授業設計は日本橋だから実現できたことなのか?という疑問がある。
- ✓本授業効果は、日本橋というまちへの関心を高めることはできたが、生徒たちの住んでいるまちへの関心は高められなかった
- ✓生徒はまだ未成年であったため、まだまちづくり活動に参画するまでには至っていなかった。引き続き、追跡調査が必要

20